



まだ誰も知らない安心を、ともに。

〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿 1-28-1

www.aioinissaydowa.co.jp

米国子会社の MOTER がソニー・ホンダモビリティとパートナーシップ契約を締結 「AFEELA」向け保険商品・サービスを開発へ

2025年1月27日

MS & ADインシュアランス グループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、保険ソフトウェアの開発等を行う当社米国子会社の MOTER Technologies, Inc.（以下、MOTER）が、ソニー・ホンダモビリティ株式会社（以下、ソニー・ホンダモビリティ）と2024年12月に締結したパートナーシップ契約を通じ、ソニー・ホンダモビリティが開発中の電気自動車（以下、EV）「AFEELA」向け保険商品・サービスの開発に取り組むことをお知らせします。

1. 背景

当社は、2021年4月に100%出資子会社として MOTER を設立し、車載器に搭載可能な保険ソフトウェアおよび EV・自動運転車両に対応した次世代型保険商品・サービスの開発を進めています。MOTER で開発している保険ソフトウェアは、エッジコンピューティング^{※1}の活用によってリアルタイムに車両側でリスク分析・保険料計算が可能であり、付加価値の高いデータ分析と個人情報漏えいリスク・データコストの低減を実現します。また、テレマティクス自動車保険で収集した運転挙動データに加え、先進運転支援システムに関するデータ等、多様なデータを総合的に活用することで、より精度の高いリスク測定や保険料算出を実現します。

MOTER は、これらの取り組みが商品・サービスの価値や顧客体験の向上に寄与することが認められ、2023年に、FROST&SULLIVAN 社主催の「2023 BEST PRACTICES AWARD」^{※2}にて「Enabling Technology Leadership Award」を受賞しました。

今般、MOTER は、「安全・安心で快適なモビリティ社会」の実現に向け、ソフトウェアプラットフォームを活用した AFEELA 向け保険商品・サービスの提供を目指し、ソニー・ホンダモビリティとのパートナーシップ契約を締結しました。

※1 IoT 端末などのデバイスそのものでデータ処理・分析を行う複数のコンピュータを利用した計算処理の概念

※2 FROST&SULLIVAN 社が各企業の未来のビジョンや革新性、顧客ニーズへの対応等を総合評価し、数多くの産業・サービスにおいて優れた企業を選出するアワード

2. パートナーシップ契約の概要

MOTER とソニー・ホンダモビリティは、パートナーシップ契約に基づき、AFEELA オーナー向けに利便性の高い自動車保険商品・サービスの開発を進めていきます。また、車両のオンライン販売フローに自動車保険加入プロセスを組み込むことで、お客さまにとってシームレスな購買体験を実現します。

<関係者のコメント>

MOTER CEO 藤井 謙治

ソニー・ホンダモビリティと共に、最先端テクノロジーとデータサイエンスを活用した革新的な保険商品・サービスの開発に取り組んでいきます。

Sony Honda Mobility of America Inc. 社長 兼 CEO 山口 周吾

AFEELA 向けの自動車保険プログラムを開発するにあたり、MOTER が持つ専門性と実績に、大きな信頼を寄せています。本提携に基づき、AFEELA に相応しい保険商品をつくり上げ、利便性の高い保険ソリューションをお客様に提供できることを楽しみにしています。

3. 今後の展開

MOTER は、引き続き多様なデータを活用することで保険ソフトウェアを含む先進技術の開発を加速させ、自動車の進化に対応した利便性の高い次世代型の保険商品・サービスの開発に取り組んでいきます。また、開発した商品・サービスは、米国から提供を開始し、日本を含む世界各国への展開を目指します。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

